

単元名: Skypeを使って交流校のクラスと交流しよう

科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応)	-
話題分野	日常生活	言語レベル	1	必要時間数	5~6時間

I 単元目標 **3×3+3**

スカイプを使ったテレビ会議で、中国長春市の交流校の生徒と、学校のことや日常生活の過ごし方について紹介しあい、それぞれの共通点や相違点に気づき、その異同について分析することを通じて、相互理解を深めることができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆初対面のときの挨拶など、基本的な挨拶をすることができる。 ◆自分の学校および一日(一週間)の生活を口頭や書面で紹介することができる。 ◆相手の学校紹介や質問を聞き取ったり、提示された資料を読み取ることができる。 ◆発表しあった後、簡単な質問をしようことができる。 ◆初対面の相手に積極的に話しかけて、うまく情報を引き出すことができる。(コミュニケーション・ストラテジー) ◆テレビ会議の感想をメール(または手紙)で送ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日中の挨拶の仕方を比較することができる。 ◆友好校の様子を、画像をとおして観察し、自分たちの学校と比較して共通点や相違点に気づくことができる。 ◆日中のある高校生(自分たちや相手校の生徒)の生活(1日、1週間)について比較し、その共通点や相違点を分析することができる。他の高校生にも一般化できるかどうか考えたり、その背景にあるものについて質問をして考察することができる。 <p style="text-align: center;">★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆グループでの話し合いに積極的に参加したり、テレビ会議での役割分担に主体的に関わったり、自分の担当の準備に責任をもって取り組むことができる。(協働) ◆学校紹介の映像制作(ビデオ撮影・編集、または写真撮影・PC取り込み・編集・アルバム作成など)をすることができる。(情報活用) ◆相手校で日本語教育が行われていることに気づき、その背景を理解することができる。(知識理解) <p style="text-align: center;">★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

コミュニケーション能力指標	<p>【日常生活】</p> <p>1-a. 一日の生活の基本的な挨拶ができる。</p> <p>1-b. 一日の行動(何時に何をするか)について会話できる。</p> <p>1-c. 一週間の生活(何曜日に何をするかなど)について会話できる。</p> <p>【学校生活】</p> <p>1-a. 学校の名前や所在地を、言ったり書いたりできる。</p> <p>1-d. 学校のことについて、口頭でやりとりできる。</p> <p>1-f. 授業やクラブを担当している先生を口頭で紹介することができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>
---------------	--

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の一日の生活や一週間のスケジュールを書く。(簡体字表記および文法・語彙の正確さ、表現の適切さ、全体の構成等) ◆自分の一日の生活や一週間のスケジュールを発表する。(発音の正確さ、声の大きさ、表現態度等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校生活紹介の資料を紙、写真、動画などで作成する。(情報量、発音・表記の正確さ、表現の適切さ、独創性、わかりやすさ、情報収集・総合力、写真・動画の使い方等) ◆学校紹介の資料を使って発表する。(発音の正確さ、表現・発表内容・発表の仕方の適切さ等) ◆互いの発表を聞いて、日中の学校や日常生活を比較し、互いに質疑応答を行なう。(質問や答えのポイント、発音の分かりやすさ、表現の適切さ、コミュニケーション・ストラテジーの使い方等)

III 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆一日のさまざまな場面(家を出るとき/校内で先生に会ったとき等)を示したイラストを用意し、その時にする基本的なあいさつを言ってマッチングする。【1-a】</p> <p>◆中国語でイス取りゲーム(フルーツバスケットの要領で)をする。中央に立つ人は一日や一週間の行動を表す文を一つ作り発表する(「6時に起きる」、「日曜日は買い物に行く」など)。該当者は席を立てて移動する。【1-b,c】</p> <p>◆自分の一日の生活や一週間のスケジュールを書いて発表する。【1-b,c,e】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> E高校の中国語選択クラスは、吉林省長春市にある交流校とスカイプを使って交流することになった。第1回目は簡単な学校紹介と代表数名が自分の一日(または一週間)の生活を紹介しあうことにした。交流校は日本語教育が盛んなので、交流は原則としてそれぞれが学んでいる相手の言語を使って行うことにした。</p> <p><活動の流れ> いくつかのグループに分かれ、自分がどんな一日(一週間)を送っているか紹介しあった後、誰を代表とするか話し合っ決めて。代表以外の生徒は、司会、音声確認、記録、中国語で学校を紹介するビデオ(または写真)制作などの担当を役割分担して決める。それぞれ担当の準備をして、当日までにリハーサルをする。交流の冒頭でどのような挨拶をするかを考える。また相手校で日本語教育が盛んな背景について理解しておく。</p> <p>交流当日、先ず挨拶をしてから、それぞれの学校紹介を画像を使って行う。代表数名が自分の生活について発表する。その後、日中の学校や生活を比較しながら自由に質問しあう。会議の様子をビデオに収録しておく。</p> <p>交流後、クラスで交流会議に関する感想や反省点を述べ合うとともに、日中の学校や日常生活の異同について気づいたことを話しあう。第2回目の交流のテーマを考え、話し合った内容をまとめてメール(または手紙)で相手校に送る。</p> <p>ヒント☞ テレビ会議ができない場合は、学校を紹介する写真(または動画)をクラスで撮影したり、もしくは、各自一日の生活を写真(または動画)で撮影したりして、それに中国語のキャプションをつけたアルバム(またはビデオ)を作り、相手校と交換する。</p>	
<使用教材・教具> デジタルカメラ、ビデオ、PC、ウェブカメラ、マイク、模造紙		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 你们好!/见到你们,很高兴。/我来介绍一下儿我们学校的情况。/我们学校在市中心,交通很方便。/男生比女生多。/这位是我们班的主任,铃木老师。他教我们英语。/大部分的学生毕业以后上大学。/我每天六点半起床。/我坐电车去学校,大概需要一个小时。/上午有四节课,下午有两节课。/一节课有五十分钟。/我参加学校的吹奏乐队,每天练三个小时。/回家以后,先做作业,然后吃晚饭、看电视、给同学发短信。/我们全家人都喜欢看连续剧,每天看两个小时电视。/十二点左右睡觉,每天睡六个小时。/周末一般在家上网,有时候跟朋友一起逛街,去唱卡拉OK。</p> <p><表現のポイント> あいさつ、連動文、動詞“在”、前置詞“在”、比較表現、時刻の表し方、時間の長さの表し方、動詞“有”、“先～再～”、量詞“节”</p>	<p>数字、日時・曜日・時刻の表し方、時間の長さの表し方、一日の行動を表す語彙(“起床、洗脸、刷牙、吃饭、去学校、上课、参加课外活动、回家、去补习学校、做作业、看电视、上网、洗澡、睡觉”等)、学校・クラブ活動の紹介(課外活動、籃球、排球、足球、舞蹈、茶道、书法等)、週末の過ごし方(“在家休息、逛街、买东西、参加网球俱乐部的比赛、看电影、买东西、去唱卡拉OK、参加志愿者活动”等)</p>	<p><事象> ◆挨拶の仕方(お辞儀などの非言語行動も含める) ◆一日(一週間)の生活 ◆中国東北部の日本語教育実施状況</p> <p><事象のポイント> ◆挨拶の仕方について日中で比較し、交流の際、どのような挨拶をするか考える。 ◆長春の高校生は普段、どのような生活を送っているか自分たちの一日(一週間)と比較する。 ◆相手校で日本語教育が実施されていることに気づき、その歴史的背景を理解することができる。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
交流校の高校生	情報	